

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
選														
作者														

No	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28

みなさんも特選（ベスト1）1句に◎、並選（好きな句）6句に○、逆選（文句をつけてやりたい句）1句に×。「選」欄にご記入ください。

作者

vol.4 「帰したくなくて夜店の燃えさうな」

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者															

梅雨寒や鼠の寝息きこえる気
襟あしを掠める源氏螢かな
と、たん！とべとぶとびばこの舌動く
亀飼つて十七年や入梅す
溶け残るざらめは舌の下夕立
お堀にアヤメ人に本来勇氣あり
指鉄砲撃って先輩あとずさる
炎昼にファンファーレぽい何か聞く
サイダーや雨やむまへの鳥のこゑ
微炭酸？俺が？初めて言われたよ：
蜘蛛というより蜘蛛の都合をみておりぬ
墓ヨロヅヒキウケ灯りをる
長生きの島に悲話有り海紅豆
舌の根の干る間を青葉湧きやまず
短夜や六人ゐる！と驚ける

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

米炊けて光りぬ浅蜷舌出しぬ
未使用のストロー軽し夏の暮
見てをりぬ夏氷すきとほりゆくを
架空のブランドねまちゆかねまちゆか
千思万考ついに野を飛ぶ夏帽子
ぬばたまの闇ほころびて河鹿笛
金魚屋のメモに★形・波・十字
半夏生ポケットにある腕時計
向日葵の中に仏が多すぎる
敦忌や舌戦もせず職を辞す
螢うきうき川上のひろき闇
はつ夏の汚れた土に汚れつつ
炎昼の舌太く怒れる男
桑の実を転校生に採ってあげる
肝油ドロップの罐にはじまる夏の川

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者															

卒業歌ダチとマブだけいれればいい
 白線の内側にいて春を蹴る
 停学の太郎の屋根に花ふりつむ
 標準にもボンタンにも吹けよ薫風
 花冷や言葉のやうな貝拾ふ
 浮かれ猫床を磨くと妻が吐く
 さくらちる発電の音立てながら
 吹かれゆく紙食器追ふ新社員
 ラー油垂らす程の決意や春暑し
 しらす井長嶋有の目がきれい
 ゆく春をただいまるすにしています
 鳥交るパーティ帰りのあえて鬱
 ルーペ覗きたいだけ春もうららなれば
 つばくらの日を掬ひつつこぼしつつ
 老親の早口聞き返せず桜

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

おい、小池！ 花見するから来い早く
 円卓へ蒼い雫の桜降る
 啄木忌出るところに出るマヨネーズ
 落花かなチワワ震えて腋の下
 警察官人形真顔花菜雨
 襟足の長き父子みて磯遊び
 コーヒーの泡くちびるにあり遅日
 人去つて戸袋残る暮春かな
 猿の絵を描いて渡せぬ菜種梅雨
 臥しており「花見は疲れる」と歳時記も
 早退の空ひろびろと啄木忌
 山笑う叔父のひたいがM字型
 春炬燵予告で早くも号泣す
 いなない人の話ばかり昭和の日
 早稲田大学生はシマシマ鬱金香

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者															

マッハが行くよ台風は一過二過
 肋骨に沿うて秋思の去りにけり
 なにこの本？なにこの檸檬？色は許す
 念写した耳の形や秋の雲
 フィンランドの切手つるつる冷まじき
 寝かさずにスプレー缶や秋の虹
 へこむのは明日にしよう夕月夜
 かまきりはきらい小顔がとれそうで
 耳聴き夜学教師の見る廊下
 月蝕やベトナムコーヒーの甘さ
 冬支度ブツクカバーを手洗います
 台風がそれず僕らはここまで来た
 すがすがし飛驒の蜻蛉に追ひ抜かれ
 長き夜や耳それなりにアシンメトリー
 ひのきのぼう拾って寂し秋の道

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

吸殻のしばらく浮かぶ桃の汁
 秋の物好きたちの句会が始まるよ
 香港へ傘を掲げよ鳥渡る
 (触ればある) 耳は秋思の邪魔をせず
 犯人とノートおそろい夕花野
 フランス装のための刃物や鳳仙花
 足の爪やすりゆつくり居待ち月
 佐村河内守の耳や穴まどい
 ゆかりなき把手の数や秋の暮
 令嬢に耳か茸か生えている
 その裏に無音ひろがる虫の闇
 意思なくて秋思黄色な印度カリ
 台風で書店に変な虫のいる
 夜の鍋かぶって嬉しこどもらと
 長月の海全力のうねりかな

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者	子供から暗号もらう青嵐	短夜をわれらカピバラ輾転す	朱色ではない印影や梅雨の闇	白靴や渥美清がゐるた六区	噴水の鍵噴水に濡れてゐる	まつすぐに人は立てない桜桃忌	リンカーン・コンチネタル夏至の夜を右折	熱帯夜りすぢゃなかつたぐりとぐら	風紋のごとく守宮のくねりゆく	ソーダ水クラスのみんなには内緒	飼ひ猫に赤紙届く夏の朝	マーガレットやつと逢えたと二回言う	逃げさうな豆より摘む豆ごはん	遠雷や怒った猫に追い抜かれ	箱のようバターココナツ梅雨の晴

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	江戸切子また平成の女の子	ジョバンニの味する夜の氷菓かな	茅花流しまだ骨組みの海の家	青嵐まつすぐ立って広瀬すず	3Dメガネ右目が青や夏の君	母のいてハンカチ振って呼ばれけり	炎天や自慰のおかずに選ぶ死者	火取虫火屑となりて落ちにけり	速そうだ苦そうだテントウムシダマシ	緑さす小鳥も小鳥指ゆびも	虹が出るまで待っててね・com	雲の峰ぼえむばろうるよみがへる	人妻の下着盗んで捨てる滝	手提げ金庫の把手小さく入梅す	新緑は夜こそ美貌すみだ川

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

vol.17 大東京マッハ「窓からの家出を花のせいにする」

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者															

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
選															
作者															

行く夏やハラミを炙る銀の箸
 織田殿に落暉燦たり原爆忌
 駄目なのかポチが歩いてるだけじゃ
 秋めくや下だけ揺れる幟旗
 残る蟬ぢりぢりと幹よぢのぼる
 夕焼けを食べて吐き出す大伽藍
 ライナスは十月生まれ空の青
 穴あいてる団栗おまえより丸く
 アの次にイが来る国のがぎぐげご
 撃たれたるごとく殿様ばつた倒る
 風死すや幟の台のガタと鳴り
 金一封軽みしみじみ文化の日
 くるぶしを浸してさようなら八月
 秋の蜘蛛金糸銀糸を織りにけり
 金貸しの金齒光って稲光

No	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

大人になつたらつかぬはずのこづち
 更地也幟によきによきはためいて
 星月夜ハララしてゐる人恋し
 ゆく夏のこんな壁が白かったか
 蟻不意に足を止むるや原爆忌
 鯛雲「SUUVAVAの幟「半額」と
 秋暑なり丸く動かす金だわし
 夕まぐれお空の上はまだお空
 蛇苺短き車両錆びており
 秋冷や眼を寄せてファインダー
 ああだっけこうだったっけどうだっけ
 父の身の折りたたまれて百舌日和
 満月までこの銀行は建っている
 幟みな雁の死へはためけり
 ナダルの抗議退けられて夜の芋

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 6句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

No	選
12	
11	
10	
9	
8	
7	
6	
5	
4	
3	
2	
1	
No	選
	作者

25		
24		
23		
22		
21		
20		
19		
18		
17		
16		
15		
14		
13		

みなさんも特選(ベスト1) 1句に◎、並選(好きな句) 4句に○、逆選(文句をつけてやりたい句) 1句に×。「選」欄にご記入ください。

保冷剤に時ゆつくりと至りけり
 そのこゑに血の引きゆくや木下闇
 アロハ着て寄席は一番太鼓から
 原爆忌移民の店に椅子みつつ
 グレープ味と教わるが血だ半夏生
 幕間のロビーに白蛾死んでをり
 炎天や五輪ごり押し言葉死す
 土星より遠くの指輪オペラの輪
 黒澤映画雨も血糊も黒くて夏
 緞帳は等速で落ち梅雨の闇
 ダリアとして生まれ君の部屋で散る
 蟻あまた踏みつ跨ぎつ奥の院
 滑りそうな葉と光沢の雨蛙